

第47回広島県民スポーツ大会総合型地域スポーツクラブ交流会 報告書

【実施期間】

令和4年11月5日（土）

【会場】

カヤック体験会場：聖湖（広島県山県郡北広島町東八幡原）

釣り大会・BBQ会場：大暮養魚場（広島県山県郡北広島町大暮85-3）

【参加者】

広島県スポーツ協会	6名	NPO法人江田島スポーツクラブ	4名
きて呉んさいクラブ	2名	伴地区スポーツクラブ	8名
NPO法人フレンドシップせとだ	5名	NPO法人みわスポーツクラブ	6名
どんぐりクラブ屋台村	13名	芸北道場	2名
よろずや北広島	6名		

計 50名

【内容】

- カヤック体験
- 釣り大会
- BBQ

【期待効果】

- 総合型地域スポーツクラブ間交流による連携機会の創出
- 新規事業
- 活動の促進
- 地域の宿泊施設・飲食店の利用等による経済活性化効果

【交流会の様子】

○カヤック体験前の指導の様子

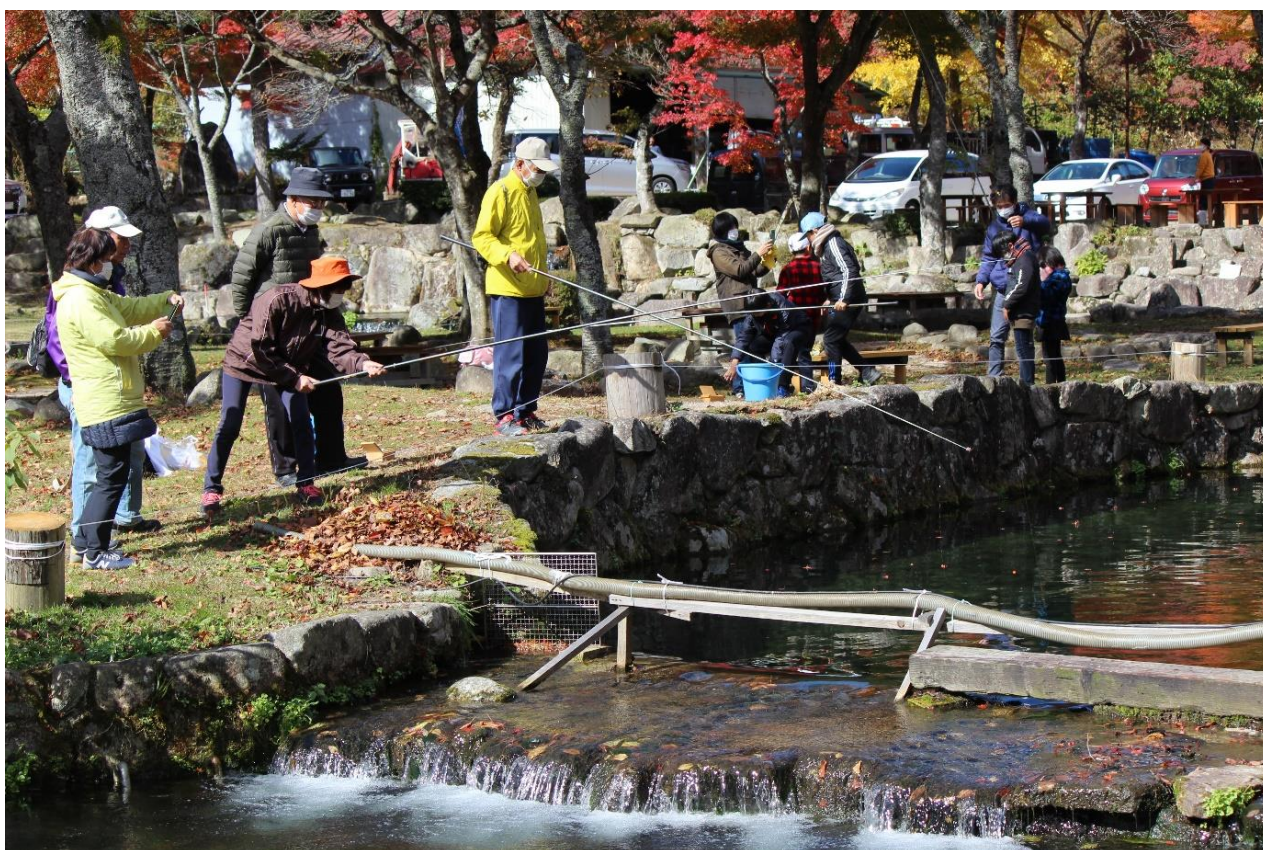


○カヤック体験の様子（聖湖）





○釣り大会の様子（大暮養魚場）



○BBQの様子（小大暮養魚場）



【今後の展開と課題】

今回は、よろずや広島北を主幹とし、同クラブの活動地域である広島県山県郡北広島町の湖「聖湖」、釣り堀「大暮養魚場」にて交流会を実施した。

今回開催された第47回広島県民スポーツ大会総合型地域スポーツクラブの部では、広島県内の総合型地域スポーツクラブが持ち回りに主管として交流会の各・運営を行う仕組みとなっており、今回は当クラブが主管として企画・運営を行った。

総合型地域スポーツクラブは1995年より文部科学省が実施したスポーツ振興施策の一つだが、近年の少子高齢化の影響等により、運営スタッフや会員数の減少によりクラブ自体の活動が滞ってきている。そのような中で、この仕組みによって、主体性すなわち活動を促進する場となっている。

また、このような交流会では様々な地域や立場、意見の異なる多様な参加者が参加する方が、気づきを高めることができる。こうした意味では、参加者の多様性も重要と言える。

連携の場としての交流会の場は、従来個々に活動を展開してきたクラブをつなげる役割を果たす。

例えば、今回のカヤック体験で他のクラブが事業に関して実施側として興味を持てば、クラブ間での指導者の紹介や派遣など、交流会後の活動にも良い影響をもたらす可能性を持つ。

課題としては、目的であるクラブ間の交流のためにいかに県内のクラブを集め多くの地域から参加者を集めることが課題となっており、企画や仕組み・環境づくりをつくっていくかが重要と考える。今後もこの交流会を通して、総合型地域スポーツクラブを持続可能なものにしていく。